

## 【学生フォーラム】

# コロナ禍での名古屋NDK フレッシュコンテスト 2020 への挑戦

愛知学泉短期大学 深谷明日香

## 要 旨

コロナ禍により、大学は閉鎖休校措置が取られ、遠隔授業で友人との会話やサークル活動もできなくなり、私たちの生活様式は一変し不安の日々を過ごした。今まで味わったことのない大変さを乗り越え、名古屋NDK フレッシュコンテスト 2020 一般の部、「未来宣言」をテーマとしたコンテストに「作品制作部門とデザイン画部門」に挑戦し「グランプリ ダブル受賞」をつかんだ。コンテストを通じ、受け身でいるのではなく、「自分から取り組む」、「諦めずに挑戦する」、「自分にとって最善の計画を立てる」ことの大切さを学び成長できた。

### 1. はじめに

新型コロナウイルス感染症拡大により、キャンパスは閉鎖休校措置が取られ、前期の授業は殆ど遠隔授業で、PC やスマートフォンからの課題提出に戸惑うことも多く、友人との会話やサークル活動もできなくなり、生活様式も一変しストレスや不安が募る日々を送った。そのような中、私は名古屋NDK フレッシュコンテスト 2020 一般の部、「作品制作部門とデザイン画部門」に挑戦した。コロナ禍の中での遠隔授業・就職活動・コンテストと、今まで味わったことのない大変さを乗り越え、「未来宣言」をテーマとしたコンテスト「グランプリ ダブル受賞」をつかむまでの私の挑戦とそこで学び得たことを報告する。

### 2. NDKフレッシュコンテストについて

#### (1) NDKフレッシュコンテスト

一般社団法人日本デザイン文化協会が主催する。「名古屋NDKフレッシュコンテスト 2020」が、令和2年7月25日、名古屋市中村区のモード学園スパイラルタワーズ開催された。コンテストは「一般」と「高校生」に分かれ、「制作」と「デザイン画」の二部門で競われた。作品制作部門は、デザイン画を元に作品制作を行う。「デザイン画部門」は、テーマに基づきファッションデザイン画を描き応募する。私は、一般で両部門に応募した。今年は「未来宣言」を共通テーマに、県内外から338点の応募が寄せられた。

#### (2) 審査形式

制作部門は1次審査(デザイン画審査)通過後、2次審査(ショー形式での審査)の形で行われた。デザイン画は郵送で作品を送付後、5月下旬ごろ郵送にて結果発表された。

#### (3) コロナ禍により審査方法が変更

本来なら作品制作部門の二次審査で現地でのショー審査が行われるが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため緊急事態宣言が発出するなどされたため、ショー審査からプレゼン審査に変更となった。

### 3. Wグランプリ受賞に向けての取り組み

#### (1) 両部門デザイン画の作成

今年度のテーマである「未来宣言」元、作品制作・デザイン画の両部門ともに3点ずつファッションデザイン画を書き上げた。デザイン画部門では、魚の鱗をモチーフとした「舞魚(まな)」(写真1)がグランプリを受賞。作品制作部門では数種類のクラゲをモチーフとした「海月の風向かい」(写真2)が一次審査を通過。二次審査に向けての作品制作へ進む運びとなった。タイトルはことわざを参考に命名した。



(写真1)

(写真2)

#### (2) 材料購入

6月上旬に名古屋市の県内最大級の布屋「大塚屋 車道本店」にて材料を購入。オーガンジーなどを中心に綿やフェルト、羊毛フェルトと差し込む専用のニードル、細い飾り糸やレース・リボンを購入。それ以外に、使用しなくなった寝具パットなども材料に採用した。

#### (3) 作品制作

完成した作品は、写真3・写真4である。

今回は多種類のクラゲをモチーフとし、パーツにより種類の違うクラゲたちの個性を表現している。一部、普段の衣装制作では使用しない布以外の材料を使用し、クラゲならではの独特のシルエットを表現した。特に力を入れたのは以下の2点である。



(写真3)

(写真4)

##### a) スカート

スカートは二重構造で、内スカートは渦巻き状に裁断したオーガンジーを一つずつ手縫いした。さらにラメ装飾を付けることで動くたびに反射し、目を引くデザインとなっている。外スカートはクラゲの丸いシルエットを表現するため透明ホースとその内部に入れる太い針金を採用。裾部分のホースに切り込みを入れ、内部の針金をフック状に絡ませることによって形状の安定化に成功した。

##### b) ビスチェ

ビスチェ一番の特徴である胸部分の丸形はタコクラゲの触腕をイメージしている。楕円に形成した綿入りのフェルトを土台とし、その上に3種類の羊毛フェルトを専用のニードルで絡ませていく。この作業により、デザイン画に描いたようなグラデーションを表現することに成功した(図1)。



(図1: ビスチェ)

### 4. プレゼン審査当日

当日は集合後30分ほど準備時間があり、プレゼン進行の確認やモデルへのヘアメイク、衣装の細部の調整した後、3分間のプレゼン審査が行われた(写真5)。結果、作品制作部門(プレゼン審査)でもグランプリを受賞した。デザイン画部門と合わせ、悲願のWグランプリを達成することができた。



(写真5)

## 5. まとめ

コンテストを通して「あきらめずに挑戦すること」、「自分にとって最善の計画を立てること」の大切さを実感した。これはコンテストだけでなく、同時期に取り組んでいた就職活動でも同じことが言えた。受け身であるのではなく、まずは「自分から取り組む」。そして目標を立て、計画を基に実行する。この取り組む姿勢が非常に大切であることを実感し成長できた。